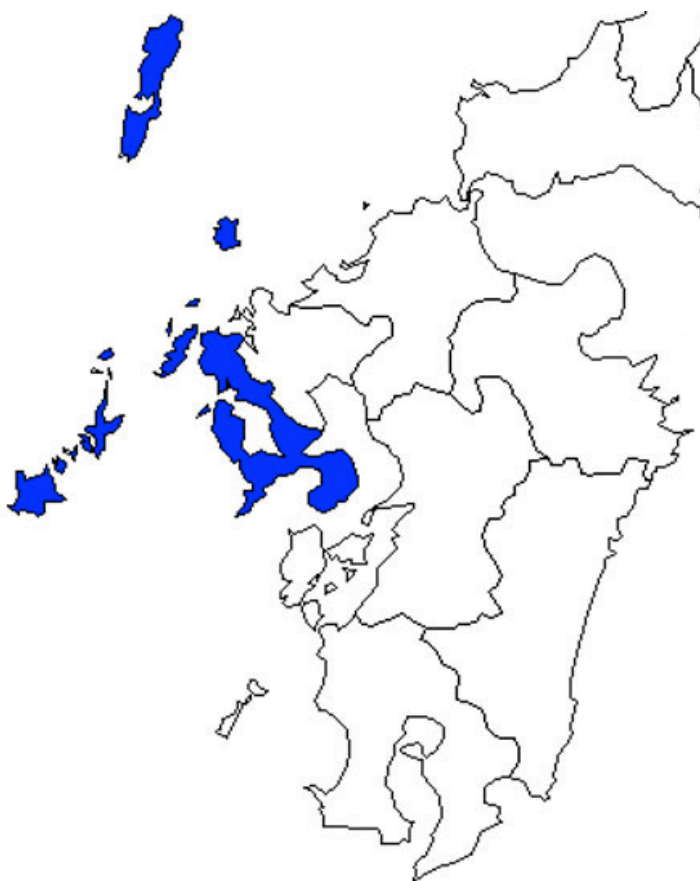


日本分析化学会九州支部

支 部 ニ ュ ー ス

第 27 号 2013 年 3 月



九州支部ウェブサイト
http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2012 年度 日本分析化学会九州支部
〒852-8521 長崎市文教町 1-14
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

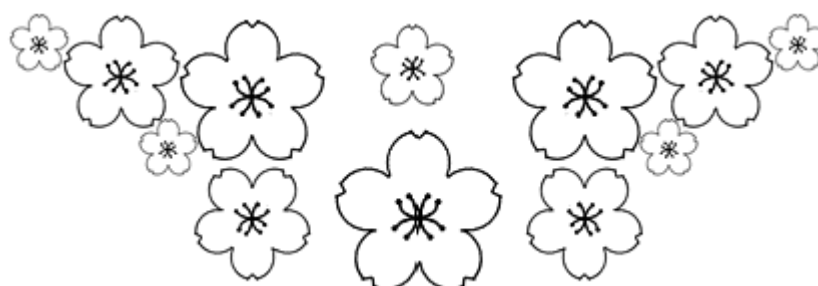
新旧支部長からのごあいさつ

支部長就任のご挨拶

平成 25 年度、公益社団法人日本分析化学会の九州支部支部長を拝命することとなりました九州大学大学院総合理工学研究院の原田 明です。分析化学が社会に役立つよう、微力ながらも尽力させて頂く所存ですので、支部会員の皆様には、宜しくご指導ご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、最近では PM2.5、2 年前からはヨウ素、セシウム、ストロンチウム等放射性元素、少し遡れば、メタミドフォス、もっと遡ってダイオキシンや内分泌攪乱物質、フロンガスや二酸化炭素等の化学物質、長い歴史を有するヒ素やタリウム、カドミウムや水銀等の元素、アスベスト等の固体物質、再び現在に戻って、身近に溢れているものの影響が必ずしも明確ではない食品添加物や揮発性有機物質、研究現場に溢れつつあるのはナノ物質、等々。思うまま羅列しても、分析対象となる化学種や物質は多様かつ多種で、測定結果（分析結果）が、社会を騒がせるのが常態と化している様です。

セシウムやヒ素、メタミドフォス等の極めて深刻なものと、騒ぎ過ぎでどうかと思われるものとを同列に扱うのも気が引けますが、何にせよ、分析の重要性は言うに及びません。ただ、「分析データは、（往々にして）数字の一人歩きをする」。だからこそですが、分析データの取得や解析においては真摯でありたい。そして、「分析には試料が必要である」（同上より引用）ことを忘れたくはない。――カギ括弧内は、日本分析化学会編「基本分析化学」（朝倉書店、2004 年、ISBN4-254-14066-5、22 頁）より引用、丸括弧内は追記――これは、昨今の PM2.5 騒ぎに浮き立つマスメディアを眺めての雑感です。勿論、このお祭り騒ぎで注目が集まり、長く、ミクロ物質の分析化学に携わってきた分析化学者の努力が報われ、かつ、新しいミクロ分析の技術が発展することを歓迎してはいるのですが、一方で、科学を知らない輩のお気楽なコメントが目や耳に余るのも困りものとも感じる昨今です。



支部長退任にあたって

2012 年度日本分析化学会九州支部長に就任後、支部行事をなんとか無事に運営できたことは、偏に、九州支部の日本分析化学会会員皆様の多大なるご支援、ご協力のおかげによるものであり、ここに厚く御礼申し上げます。また、平成 24 年 3 月より 1 年間、私は本学会九州支部の運営を任されましたが、この間、会議等の実務は栴島庶務および柴田会計両幹事に担当していただき、浜瀬副支部長には本支部ニュースの作成と編集、ならびに澤津橋副支部長には昨秋の支部講演会および三菱重工業長崎研究所の見学会のお世話を主に担当していただきました。ここに彼ら若い執行部役員の優れた運営能力とご協力に深く感謝いたします。

非才な私としては従前の支部行事を執り行うのに精一杯でありましたが、それぞれの講演会、学会、セミナー、講習会等において、多数の若手研究者や大学院生に集まっていただき、各種のポスター賞受賞者を中心として活発な発表、討論がなされました。このような九州支部学会活動の熱気と頼もしさを実感できたことは誠に幸いでありました。それらの事業のお世話をしていただいた支部役員の方々に心から御礼申し上げます。また、支部の機器分析ワークショップ事業では、ジェイ・サイエンス西日本(株)幹事会社様より、九州の各方面において最新機器の講演会を開催していただきました。その際、各会場で支部幹事の先生方のご挨拶と日本分析化学会のパンフレット等の配布および学会会員拡充活動をお願い致しました。その活動にご協力いただいた支部役員の方々に厚く御礼申し上げます。また、2012 年度より、支部の行事および活動を九州支部会員の皆様に広く案内するために、支部経費の削減を兼ねて、支部会員の皆様に電子メールで支部ニュースを配信するようにいたしました。

上述の九州支部の学会活動において、九州分析化学会賞には横山拓史先生を選考し、4 名の優れた大学院生に九州分析化学奨励賞を授与いたしました。また、特筆すべきことは、平成 24 年度日本分析化学会年会において、多くの九州支部推薦者が各賞に受賞されたことであります。学会功労賞に九州大学名誉教授財津潔先生、有功賞に長崎エンジニアリング(株)安武昭典氏がそれぞれ受賞され、5 名の奨励賞では 3 名の九州支部の若手研究者（熊本大学北村祐介先生、鹿児島大学児玉谷仁先生、九州工業大学佐藤しのぶ先生）が受賞されました。この場をおかりして受賞されました皆様に心よりお祝い申し上げるとともに、引き続き九州支部会員としてのさらなるご貢献をお願い申し上げる次第であります。

このように九州支部の若手研究者らの活躍は誇らしく、九州支部の将来に明るさを感じております。今後とも、支部会員の皆様にご支援をお願いするとともに、次期支部長原田明先生を中心にして九州支部の益々の発展を祈念して、退任の挨拶とさせていただきます。（長崎大学 甲斐 雅亮）



2012年度支部活動報告

❖ 第25回 九州分析化学若手の会 春の講演会 ❖

期日：2012年5月26日（土）
主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部
会場：福岡大学七隈キャンパス（福岡市）
世話人：吉田 秀幸（福大薬）
＊詳しくは、支部ニュース第26号をご覧ください。

❖ 第49回 化学関連支部合同九州大会 ❖

期日：2012年6月30日（土）
主催：日本分析化学会九州支部ほか7支部
会場：北九州国際会議場（北九州市）
依頼講演：（支部推薦）「先端医療におけるナノ診断とナノ治療」村田 正治（九大院医）
九州分析化学ポスター賞5件が授与されました。
＊詳しくは、支部ニュース第26号をご覧ください。

❖ 第53回 分析化学講習会 ❖

期日：2012年8月8日（水）～10日（金）
主催：日本分析化学会九州支部
共催：福岡市、九州大学学術研究都市推進機構、日本化学会九州支部、電気化学会九州支部、日本薬学会九州支部、日本食品科学工学会西日本支部、日本農芸化学会西日本支部、日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部、日本臨床化学会九州支部、日本水環境学会九州支部、福岡県環境計量証明事業協会
会場：九州大学伊都キャンパス・福岡市産学連携交流センター
実行委員長：下田 満哉（九大院農）
本年度の受講生は50名で、密度の濃い実習が行われました。
＊内容詳細は、支部ニュース第26号をご覧ください。

❖ 第72回 分析化学討論会 ❖

期日：2012年5月19日（土）～20日（日）
主催：日本分析化学会（九州支部担当）
会場：鹿児島大学郡元キャンパス（鹿児島市）
実行委員長：肥後 盛秀（鹿児島大院理工）
＊詳しくは、支部ニュース第26号をご覧ください。

❖ 2012年度 九州支部講演会 ❖

期日：2012年10月26日（金）
主催：日本分析化学会九州支部
会場：長崎大学文教キャンパス（長崎市）
講演：
「アルミニウムとケイ素の環境分析化学」（2012年度九州分析化学会賞受賞講演）横山 拓史（九大院理）
「ナトリウムの化学的活性度抑制に関する研究」福永 浩一（三菱重工業（株）長崎研究所）
「三菱重工業株式会社長崎研究所の紹介」澤津橋 徹哉（三菱重工業（株）長崎研究所）
＊講演会終了後、見学会（三菱重工業（株）長崎研究所）が開催されました（後述）。

❖ 2012年度 機器分析ワークショップ ❖

（株）ジェイ・サイエンス西日本の川上様、松尾様、今村様のお世話で、以下の通り、九州各地で機器分析ワークショップを開催しました。参加者へのアンケート調査の結果、たいへん好評でした。

主催：日本分析化学会九州支部
共催：株式会社ジェイ・サイエンス西日本、株式会社西村商会
協賛：サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社
テーマ：世界初の高分解能ベンチトップ型LC-MS&LC-MS/MSのご紹介

● 長崎会場

期日：2012 年 5 月 30 日（水）13:30～17:00

会場：長崎大学薬学部 2 階第 2 講義室

参加者：16 名

● 長崎会場

期日：2012 年 9 月 12 日（水）14:00～16:00

会場：長崎国際大学薬学部 1 階会議室

参加者：10 名

● 大分会場

期日：2012 年 11 月 15 日（木）14:00～16:00

会場：大分大学工学部応用化学学科 1 階セミナー室

参加者：13 名

● 福岡会場

期日：2012 年 11 月 16 日（金）14:00～16:00

会場：九州大学総合理工学府 2 番教室

参加者：14 名

● 北九州会場

期日：2012 年 12 月 12 日（水）14:00～16:00

会場：ウエルとばた 83・84 会議室

参加者：9 名

● 鹿児島会場

期日：2012 年 12 月 13 日（木）14:00～16:00

会場：鹿児島大学産学官連携推進センター 1 階ディスカッションルーム

参加者：16 名

❖ 会議等 ❖

● 九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会

期日：2012 年 6 月 2 日（土）

会場：九州大学薬学部 2 階 会議室

選考委員長：竹中 繁織（九工大院工）

＊2012 年度九州分析化学会賞受賞者 1 名、九州分析化学奨励賞受賞者 4 名については、支部ニュース 26 号をご覧ください。

● 2012 年度第 1 回常任幹事会

期日：2012 年 7 月 7 日（土）

会場：長崎大学薬学部 5 階 研修室

● 学会賞等候補者推薦委員会

期日：2012 年 10 月 25 日（木）

会場：長崎大学薬学部 5 階 研修室

● 2012 年度幹事会

期日：2012 年 10 月 25 日（木）

会場：長崎大学薬学部 5 階 研修室

● 2012 年度第 2 回常任幹事会

期日：2013 年 2 月 16 日（土）

会場：長崎大学薬学部 5 階 研修室

❖ 第 30 回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー ❖

2012 年 7 月 27 日（金）・28 日（土）の 1 泊 2 日の日程で、鹿児島県指宿市の休暇村指宿を会場として第 30 回九州分析化学若手の会夏季セミナーを開催しました。この夏季セミナーは 1983 年から開催されており、今年が 30 回の記念大会になります。今回の参加者数は、招待参加者を含め計 145 名となりました。

世話人である神崎（鹿児島大院理）による開会宣言の後、第 49 回化学関連支部合同九州大会の分析化学部門優秀ポスター賞受賞者（九大院理 増永幸君、九大院理 黒木翔君、熊大院自然 二村朱香君、九大院工 ユジョンテ君、熊大院自然 野口広貴君）による模範ポスター発表が行われ、聴衆を前に研究や発表に関するアドバイスも含め堂々とした発表を

していました。座長は栗崎、松浦、梅木、満塩、糸山の各先生にご担当いただきました。

続く一般ポスター発表（76 件）では、例年通り、教員・学生入り混じって、熱気あふれる議論が交わされました。ポスター発表のうちから、参加者全員の投票により九州分析化学若手賞（8 件、下記）を選出しました。女性受賞者が目立つ結果となりました。その後、今坂藤太郎先生による記念講演（座長：肥後盛秀先生）、九州分析化学奨励賞授与式、九州分析化学若手の会総会と続き、休憩に入りました。一部の参加者は、砂蒸し風呂を体験されたようです。若手の会 30 周年記念祝賀会は、乾杯のご発声を山口 政俊先生にいただき、研究室紹介、九州分析化学若手賞授与式が行われました。研究室紹介では、

良く準備された催しが目立ちました。引き続き懇親会により研究室間の交流が図られました。2日目は吉村和久先生、浜瀬健司先生による記念講演（座長：松井利郎先生、岸川直哉先生）と九州分析化学奨励賞受賞講演（福岡大理 岩瀬元希君、九大院工 郭帥君、九大院薬 唐川幸聖君、九大院理 那仁高娃君）が行われました。座長は吉留、末田、吉田、大平の各先生にご担当頂きました。閉会式では、次年度の春の講演会の世話人（岡上吉広先生）の代理として大橋弘範先生が、夏季セミナーの世話人として岸川直哉先生がアナウンスを行いました。参加者のうち学生は 106 名、教員 37 名、一般 2 名で、女性は 39 名でした。

三十周年記念事業として、これまでの夏季セミナー世話人に寄稿を依頼し、三十周年記念誌として編み、要旨集と合冊としました。夏季セミナーの立ち上げ・変遷の分かる、充実したものに仕上がりました。

なお、今回の九州分析化学若手賞受賞者 8 名は以下の通りです。

九大院農 須山晶君「プロシアニジントリマーの血管内皮細胞における血管弛緩因子産生機序の解明」
九工大院情報工 山本千裕君「遺伝子レベルで制御可能な

タンパク質の翻訳後ラベル化技術の開発」
宮崎大院工 大西佐和君「I/O エマルションから調製した球状セルロース微粒子を用いた IMAC 吸着」
福岡大薬 清川恵奈君「含水試料中アルコール類の蛍光誘導体化 HPLC 分析」
長崎大学院医歯薬 馬場雅子君「イムノコンプレキソーム解析法の最適化」
九大院理 井龍美由紀君「ヘミンのヒト血清アルブミンへの結合挙動」
九大院理 甲斐さつき君「固相分光法を用いた海水中の微量溶存鉄の存在状態別定量」
九大院薬 中内佑亮君「宇宙試料におけるアミノ酸光学異性体の高感度分析法開発」

次回で夏季セミナーは早くも 31 回目の開催を迎え、長崎で開催されます。本稿を読まれている方々には、是非来年は長崎へ足を運ばれますようお願い申し上げます。最後に講演者、座長の皆様、参加いただいた多くの方々、開催にご協力くださいました関係各位にこの場を借りて心より御礼申し上げます。

（鹿児島大学 神崎 亮）



❖ 2012 年度 支部見学会 ❖

2012 年 10 月 26 日（金）、三菱重工業㈱長崎研究所および長崎造船所史料館の見学会が開催された。

同日の午前、長崎大学文教キャンパスで行われた支部講演会終了後、見学会参加者 18 名は貸切バスにて見学会会場へ移動した。同社は、長崎湾に面した位置にあり、道中は建造中の大型船舶（自動車運搬船や最新鋭護衛艦）や女神大橋を眺めながら、参加者間の会話に花が咲き和やかな雰囲気の中、長崎研究所に到着した。

見学会の冒頭、長崎研究所の松井昭彦 次長による挨拶があり、その後、会社紹介が行われた。同社は、国内・海外の社会・インフラ事業を幅広く手がけており、輸送・防衛、発電、環境といった社会に根付いた製品・ソリューションビジネスを展開している。そのうち、長崎研究所は、エネルギー・環境と物流の研究開発拠点として、150 年以上の伝統を維持・継承しつつ理論と実施の調和を図って、商船、ボイラ、航空機、エンジン、風車等の製品開発を推進している。

会社紹介の後、午前中に講演会で発表したナノ粒子製造設備に加え、同社が誇る大規模実験設備（耐航性能水槽、燃焼棟）を見学し、緻密なナノスケールの研究から躍動感のある数百 m 級の研究まで、スケール感ある開発状況を見ることができた。参加者からは、基礎から応用、そして実用レベルまでの開発ステップの考え方について活発な質問があり、大変活況な工場見学会となった。

その後、長崎造船所史料館へ場所を移し、明治期から現代までの産業発展の縮図を垣間見ることができ、“岩崎彌太郎”、“戦艦武蔵”などの三菱ならではのブースでは、横山館長の熱の入った説明に参加者一同耳を傾けた。

工場見学終了後、甲斐支部長が挨拶をされ、無事見学会を終了した。最後に、ご参加頂いた方々にこの場を借りて心より御礼申し上げます。

（三菱重工業㈱長崎研究所 澤津橋 徹哉）



本部関連

❖ 第73回 分析化学討論会 ❖

期日：2013年5月18日(土)～19日(日)
会場：北海道大学函館キャンパス
<http://www.bunken.org/jsac/73touron/index.html>

❖ ASIANALYSIS XII ❖

期日：2013年8月22日(木)～24日(土)
会場：九州大学馬出キャンパス
<https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/asianalysis/>

❖ 日本分析化学会 第62年会 ❖

期日：2013年9月10日(火)～12日(木)
会場：近畿大学東大阪キャンパス
詳細は「ぶんせき」誌を御覧下さい

❖ Analytical Sciences 誌投稿のお願い ❖

私たちの学会が国際的に“強い”ジャーナルを持つことは、会員にとって、また我が国の科学が世界的に地位を向上するために非常に重要です。*Anal. Sci.* 誌の編集委員会では、同誌の国際的競争力の向上を目指して努力しております。その一貫として、年間で最も引用された論文を“Most Cited Paper Award of Analytical Sciences”として、また、毎月各号においては“Hot Article”を選定して、それぞれ表彰させていただいております。投稿から印刷までの期間短縮にも努めております。良い研究成果ができましたら、*Anal. Sci.* 誌へのご投稿をご検討ください。また、

是非は別にして、国際的競争力 = IF 値は否定できません。成果を他のジャーナルに投稿される場合でも、可能な範囲で *Anal. Sci.* の論文を引用して頂ければ幸いです。何卒、よろしくお願い申し上げます。

❖ 支部からの役員 ❖

理事：甲斐 雅亮（長崎大学）

代議員：今坂 藤太郎（九州大学）、片山 佳樹（九州大学）、神崎 亮（鹿児島大学）、黒木 広明（第一薬科大学）、高椋 利幸（佐賀大学）、能田 均（福岡大学）、松井 利郎（九州大学）、柳 雅之（三井化学）、竹中 繁織（九州工業大学）

編集委員：

「ぶんせき」松井 利郎（九州大学）

「分析化学」神崎 亮（鹿児島大学）

「Analytical Sciences」中野 幸二（九州大学）

❖ 入会を歓迎します ❖

個人会員数は 5000 人をきっています。あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘いください。支部の事務局へご連絡いただければ入会案内をお送り致します。また、入会をご検討中の方に対して、要望があれば、会長より支部をとおして機関誌の無料配布が行われるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力ください。

今後の支部活動計画

❖ 支部活動・事業予定 ❖

● 第26回 九州分析化学若手の会春の講演会

期日：2013年5月25日（土）13:30～

会場：九州大学箱崎キャンパス 国際ホール

<http://www.kyushu-u.ac.jp/access/map/hakozaki/hakozaki.html>

講演：（九大院理）宇都宮 聡

（アサヒ GH）望月 直樹

（京大原子炉実験所）小林 康浩

（福岡大理）脇田 久伸

世話人：岡上 吉広（九州大学）

● 第50回 化学関連支部合同九州大会

期日：2013年7月6日（土）9:00～17:30 会場：北

九州国際会議場および AIM ビル

発表申込期間：3月1日（金）～ 4月15日（月）

予稿原稿〆切：5月20日（月）

第50回記念特別講演

玉尾皓平（独）理化学研究所

神谷信夫 大阪市立大学複合先端研究機構

代表世話人：角田 佳充（九州大学大学院農学研究院）

● 第31回 九州分析化学若手の会夏季セミナー

期日：2013年7月26日（金）～ 27日（土）

会場：長崎ホテル清風（長崎市稲佐山）

内容：・総会

・九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演

・模範ポスター発表（九州分析化学ポスター賞）

・依頼講演（北海道支部よりの派遣含む）

・一般ポスター発表

・懇親会

参加費：一般 ¥8,500、会員学生 ¥7,500、非会員学生 ¥8,500

世話人：岸川 直哉（長崎大学）

● 第54回 分析化学講習会

期日：8月7日（水）～ 9日（金）（以下すべて予定）

場所：1日目（7日）福岡市産学連携交流センター

2日目（8日）九州大学工学部（情報交換会 ビッグどら）

3日目（9日）九州大学工学部

代表世話人：下田 満哉（九州大学）

❖ 2013年度 支部執行部・役員 ❖

● 執行部

支部長： 原田 明（九大院総理工）

次期支部長： 松井 利郎（九大院農）

副支部長： 吉留 俊史（鹿大院理工）

田嶋 晴彦（化学物質評価研）

監査： 甲斐 雅亮（長崎大院医歯薬）

澤津橋 徹哉（三菱重工業（株））

庶務幹事： 石岡 寿雄（九大院総理工）

会計幹事： 磯田 美紀（九大院総理工）

● 常任幹事（13名）

（九工大・福教大） 竹中 繁織（九州工業大学）

（九大院工） 新留 康郎（九州大学）

（九大院理） 宇都宮 聡（九州大学）

（九大院薬・第一薬大） 浜瀬 健司（九州大学）

（九大院農・九産大） 下田 満哉（九州大学）

（九大筑紫・近大九州工） 河津 博文（近大九州工）

（福岡大） 山口 敏男（福岡大学）

（佐賀） 高橋 利幸（佐賀大学）

（長崎・熊本） 和田 光弘（長崎大学）

（長崎・熊本） 西田 正志（崇城大学）

（大分・宮崎） 大島 達也（宮崎大学）

（鹿児島・沖縄） 新垣 雄光（琉球大学）

（企業・官公庁） 川上 健次（（株）ジェイ・サイエンス西日本）

事務局より

❖ 各賞推薦依頼および規定 ❖

▼ 九州分析化学会賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として九州在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会の正会員にして、分析化学に関する研究、教育及び九州支部の運営において功績が顕著であり、九州の分析化学の発展に多大なる貢献をした者で、受賞の年の1月1日現在、原則として20年間以上引き続き本会会員であり、満65歳以下の者。

必要書類・締切：推薦者はA4 1枚の推薦書（指定用紙）及び被推薦者の業績目録、被推薦者本人による業績内容の説明文（図表等を含めA4 4枚程度、教育・支部運営についてA4 1枚程度、英文可）の正本1部、写し9部（計10部）を4月末日までに支部長に送付。

▼ 九州分析化学奨励賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として、九州に在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ、日本分析化学会会員であり、九州の分析化学会の活動に積極的に参加した者で、受賞年度の4月1日現在、満30歳未満の者。ただし、修士課程（博士前期課程）及び博士課程（博士後期課程）に在籍する社会人及び外国人留学生にあっては満35歳未満の者。非会員は受賞時までには日本分析化学会の入会申請をしなければならない。

必要書類・締切：推薦者はA4 1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の論文目録、講演題目のリスト及び論文等の別刷りの一部（複数可）、さらに被推薦者本人による研究内容の説明文（A4 2枚、英文可）

及び図表等（5枚程度）の正本1部、写し8部（計9部）を指定期日（受付期間：4月1日～30日）までに支部長に送付。

※募集要項の詳細は支部のホームページをご覧ください。申請に必要な書類ファイルもダウンロードできます。

❖ 編集後記 ❖

随分と寒さも和らぎ、日に日にあたたかくなって参りました。本年度一年間も間もなく終了し、皆様、新たな年度に向けての御準備をされている事と拝察申し上げます。

副支部長として務めてきた一年間はあっという間に過ぎ、甲斐先生を中心とする執行部に全て支部のお世話を頂いた感が有ります。殆どお役に立てず、申し訳ない思いで一杯です。来たるべき2013年度は少しでも支部のお役に立てるよう、精進したいと思います。

さて、来年度は大学側副支部長を鹿児島大学の吉留先生にバトンタッチ致します。原田支部長、吉留副支部長、田嶋副支部長のもと、九州支部が更に発展をしていくことを信じております。

皆様には一年間の御支援に感謝いたしますとともに、次年度も分析化学会九州支部への一層の御指導、御支援をお願い申し上げます。

（副支部長 浜瀬）



2012 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒 852-8521 長崎市文教町 1-14 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科
TEL & Fax: 095-819-2438

支部長	甲斐 雅亮 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) ms-kai@nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2438
副支部長	浜瀬 健司 (九州大学大学院薬学研究院) hamase@phar.kyushu-u.ac.jp / 092-642-6598
副支部長	澤津橋 徹哉 (三菱重工業(株) 技術統括本部 長崎研究所) tetsuya_sawatsubashi@mhi.co.jp / 095-834-2160
庶務幹事	栴島 力 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) tsukaba@nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2439
会計幹事	柴田 孝之 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) tshibata@nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2440